ボーリング柱状図

調　査　名	二級河川和久原川水系才原川　通常砂防事業に伴う業務委託（2工区）
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	1	3	3	5	0	0	8	0	0	3

シートNo.　3

ボーリング名	No.3	調査位置	三原市中之町六丁目	北緯	34° 25′ 17.1589″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所	調査期間	平成27年12月19日～平成27年12月21日	東経	133° 06′ 20.7807″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 72.61m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	33° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦製DO-DRXSO	ハンマー落下用具 半自動型
総掘進長	8.00m		エンジン	ヤンマーNFD10-MK1	ポンプ 東邦製BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	72.51	0.10		シルト質砂	濃茶						GL-0.1cmまで草根が混入する。
1				砂質シルト	赤褐	E	Ⅵ	d	ε	1	細粒分の割合が高く，水分が多い。粘性がある。 φ0.5cm程度の礫がまれに混在する。
2	70.61	2.00									
3				強風化花崗斑岩	黄褐	E	Ⅵ	d	ε	1	風化したDL級の花崗斑岩。土砂状になっている。
4											
5					青灰						GL-4.45m付近，硬質礫が密集。 GL-4.6m，-4.9m付近，それぞれ1cm程度の硬質な脈。 GL-5.45m付近，硬質礫が密集。 GL-5.6m付近，2cm幅の硬質な脈。
6	66.71	5.90									
7	65.56	7.05		花崗岩	灰褐	C	Ⅴ Ⅳ Ⅴ	c	γ		GL-5.9mよりDH級岩盤。 GL-6.3～-6.5mはCL級岩盤。短柱状コアで採取され，亀裂が密に発達する。 GL-6.5mよりDH級で角礫状で採取される。φ2～3cmの礫が主体。
8	64.61	8.00		花崗斑岩	青灰	D	Ⅳ				GL-7.05mよりDH級の花崗斑岩が貫入する。 角礫～岩片状コアで採取され，亀裂が発達する。 GL-7.6m付近で粘土化している。 GL-7.8m付近，花崗岩が細脈状に入っている。
9											
10											
11											
12											
13											

コア採取率 ×（%）　最大コア長 ●cm　RQD ［%］　0 20 40 60 80

岩級区分	孔内水位／測定月日
D	
CL	12/21 6.85
D	

標準貫入試験

深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm
1.15	5/30
1.45	
2.15	12/30
2.45	
3.15	7/30
3.45	
4.15	26/30
4.45	
5.15	31/30
5.45	
6.05	50/18
6.23	
7.00	50/5
7.05	
8.00	貫入不能

N値　0 10 20 30 40 50 60

原位置試験　室内試験

掘進状況

掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
12/19	450	66／ケーシング	シングル／MC	0	0	0	無水／0	0
	250		ダブル／MC	4	120	1	泥水／15	15
	130		ダブル／DC					
12/21	150	66	ダブル/DC					